

JSP

地下空間の湧水処理・結露防止

壁用

ミラクリフ®

&

床用

ミラフロー

湧水処理断熱パネル

湧水処理と断熱工事が一体化  
軽量で切断加工も容易のため、  
地下空間でも簡単施工



## 地下空間の湧水処理・結露防止

壁用

# ミラクリフ<sup>®</sup>

床用

# ミラフロー

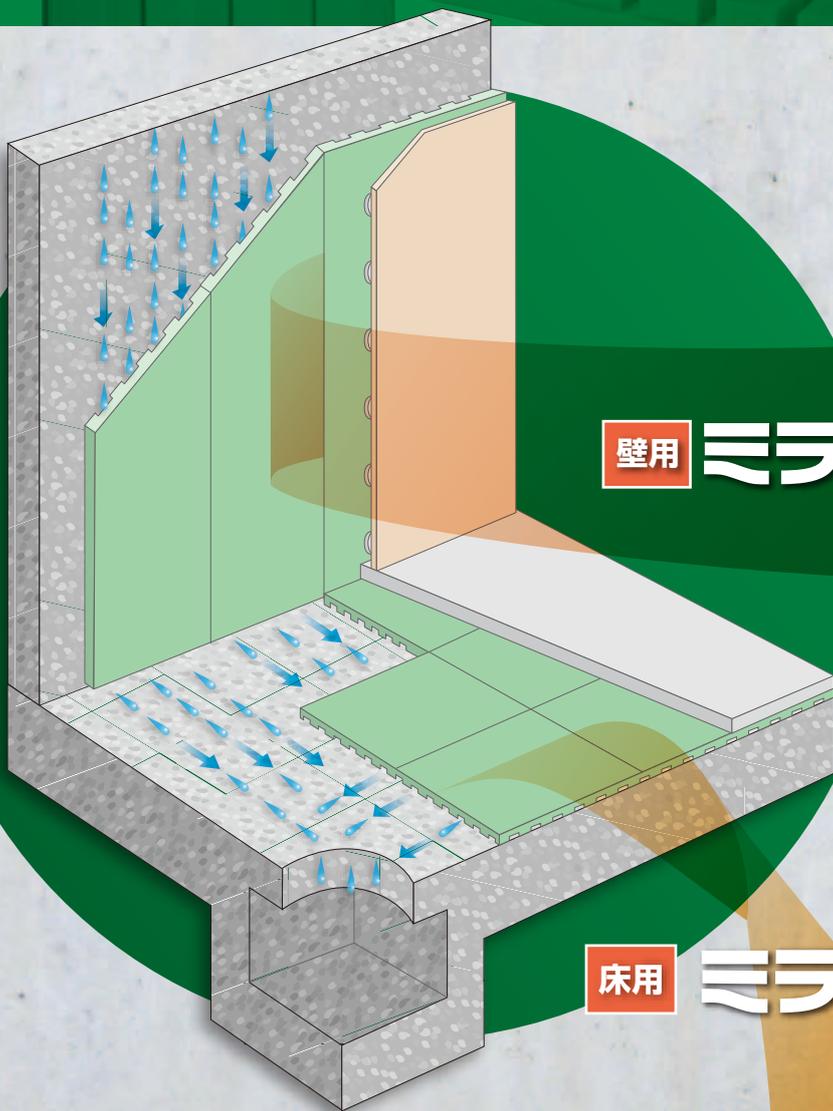
- ▶ 湧水処理機能をもつ床用『ミラフロー』と壁用『ミラクリフ』を採用した、湧水対策として一般的な二重スラブ方式や二重壁に代わる画期的な工法です。
- ▶ 軽量で切断加工も容易なため、優れた施工性、工期の短縮などのメリットがあります。
- ▶ 断熱性能に優れた『ミラフォーム』を基材としているため結露防止に役立ち、快適な地下空間を生み出します。
- ▶ 地下空間を居室、電気室、機械室、倉庫など広い用途へのご利用が可能になります。
- ▶ 圧縮強度が強いため湧水処理を必要とする蓄熱槽にも使用できます。

壁用

# ミラクリフ<sup>®</sup>

床用

# ミラフロー



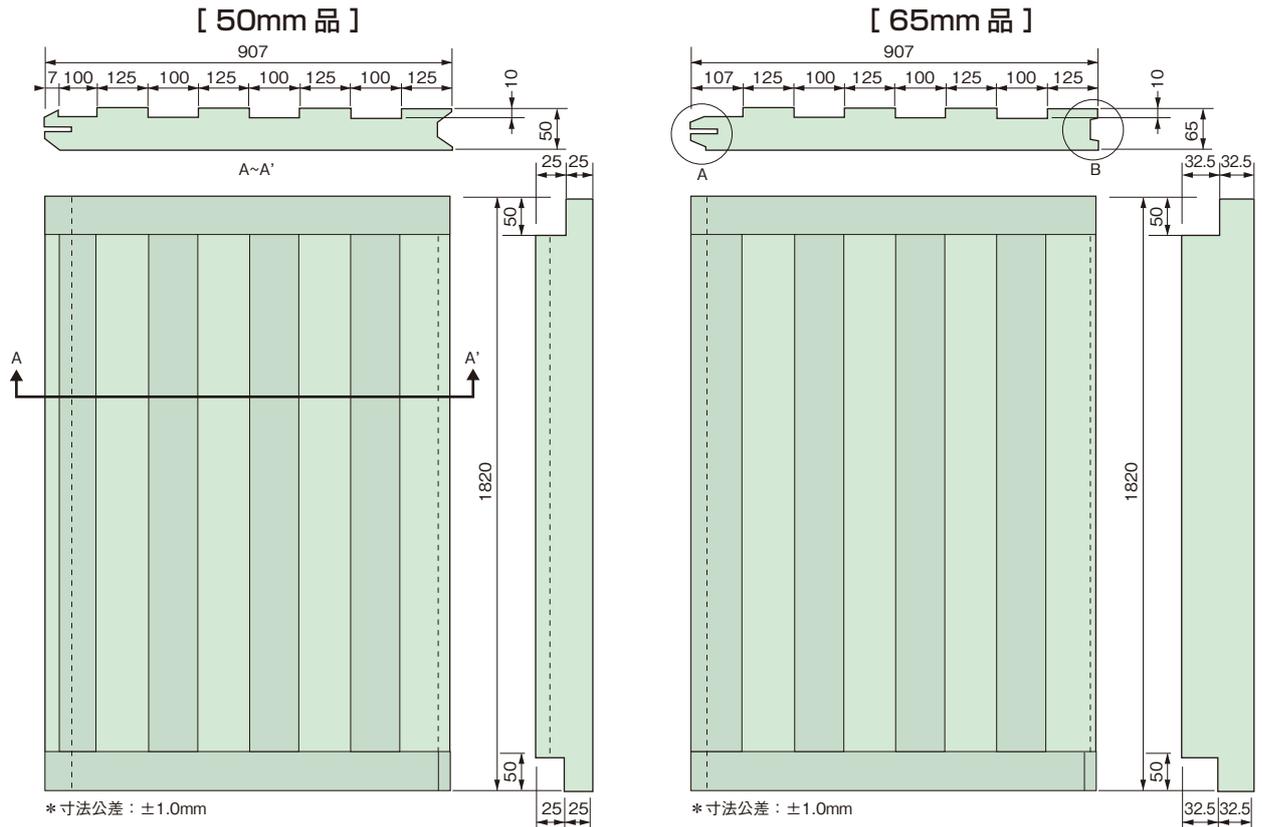
## ミラクリフ(A種押出法ポリスチレンフォーム 3種b加工品)の製品サイズと物性

厚さ (mm)	寸法(厚さ×幅×長さ) (mm)	熱抵抗値*3 (m <sup>2</sup> k/W)	熱伝導率*4 (W/m・K)	吸水量*4 (g/100cm <sup>2</sup> )	燃焼性*4
50	50×907*1×600*2 50×907*1×900*2 50×907*1×1820	1.58	0.028以下	0.01以下	合格
65	65×907*1×600*2 65×907*1×900*2 65×907*1×1820	2.11			

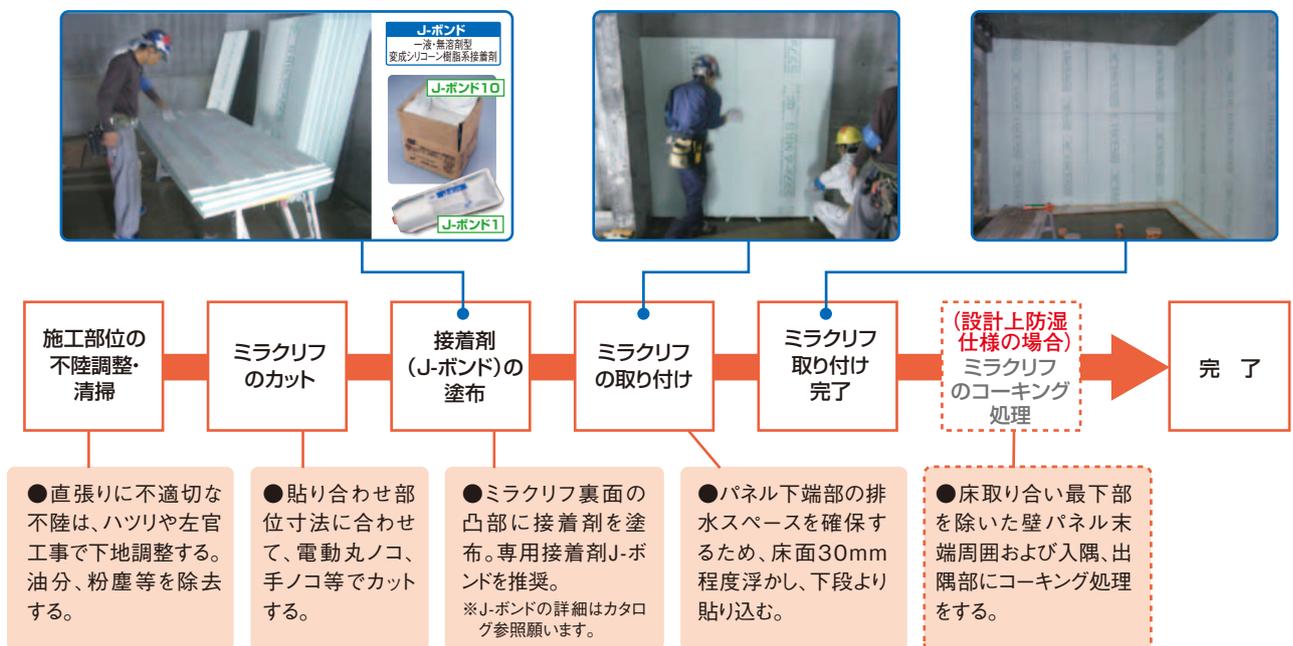
\*1 有効幅は900mm。 \*2 横目地ジョイント用。

\*3 熱抵抗値は、凹凸を平均厚さに換算した値【基材：ミラフォームMKS(3種b)】。 \*4 測定法 JIS A 9511

## ミラクリフの製品形状



## ミラクリフの施工手順



# ミラフロー(A種押出法ポリスチレンフォーム 1種b加工品)の製品サイズと物性

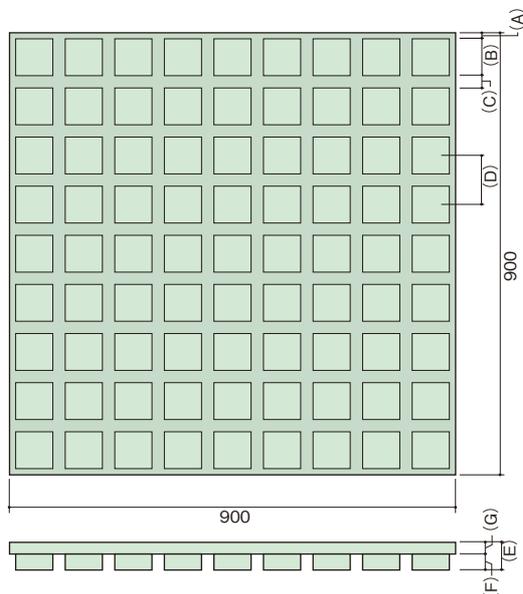
施工条件に合わせて厚さも各種取り揃え

品番	寸法(厚さ×幅×長さ) (mm)	熱抵抗値*1 (m <sup>2</sup> k/W)	吸水量*2 (g/100cm <sup>2</sup> )	燃焼性 JIS A 9511	圧縮強度 (tf/m <sup>2</sup> )
MFL25	25×900×900	0.48	0.01以下	合格	9.0以上
MFL30	30×900×900	0.59	0.01以下	合格	9.0以上
MFL35	35×900×900	0.66	0.01以下	合格	9.0以上
MFL40	40×900×900	0.73	0.01以下	合格	9.0以上
MFL45	45×900×900	0.85	0.01以下	合格	9.0以上
MFL50	50×900×900	0.92	0.01以下	合格	9.0以上
MFL75	75×900×900	1.44	0.01以下	合格	9.0以上
MFL100	100×900×900	1.95	0.01以下	合格	9.0以上

\*1 熱抵抗値は、凹凸を平均厚さに換算した値【基材：ミラフォームM1F(1種b)】。

\*2 吸水量についてはJISの基準値を引用。

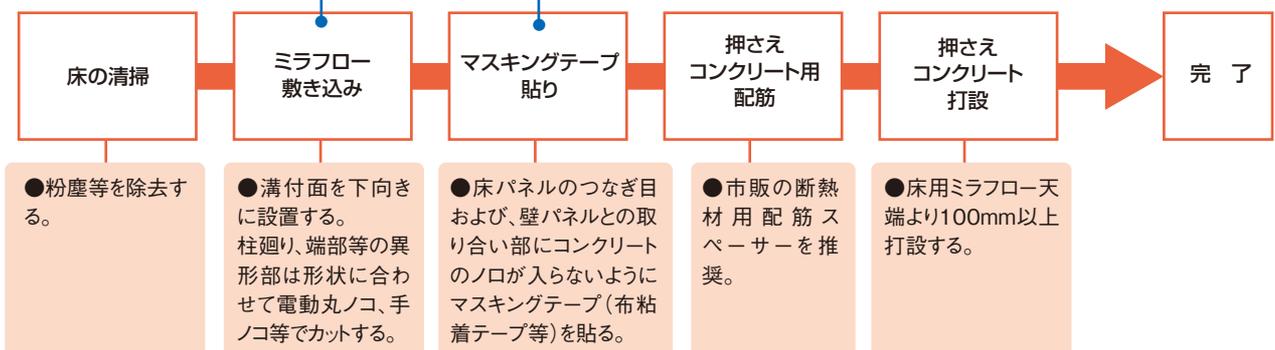
## ミラフローの製品形状



(A)	溝幅(端部)	12.5mm
(B)	凸部幅	75mm
(C)	溝幅	25mm
(D)	凸部芯々幅	100mm

(E) 製品厚さ	(F) 溝深さ	(G) 平板部
25	13	12
30	15	15
35	20	15
40	25	15
45	25	20
50	30	20
75	40	35
100	50	50

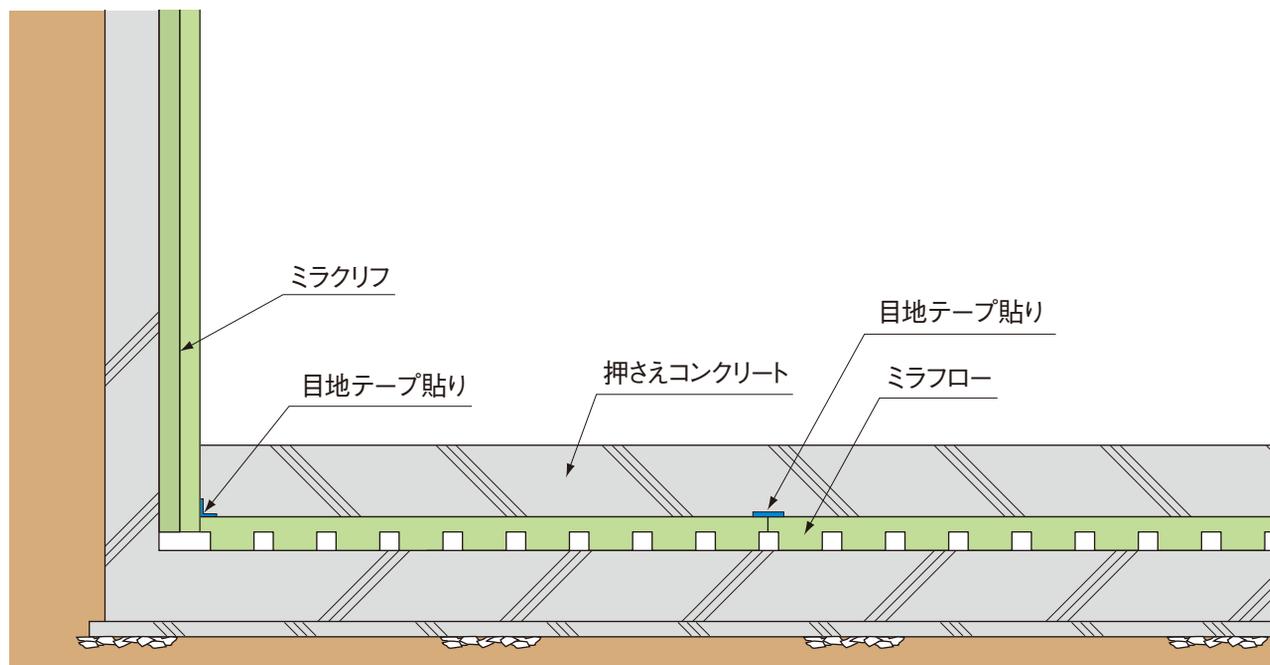
## ミラフローの施工手順



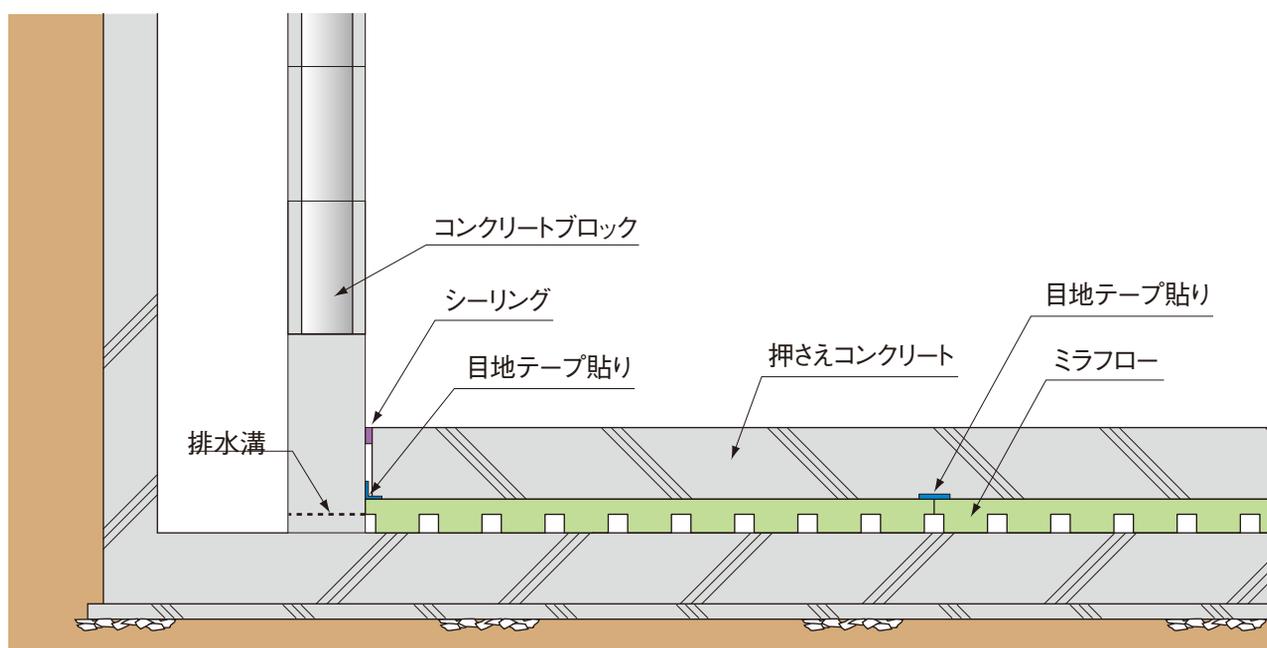
用途に合わせた施工方法。  
湧き水を適切に処理し、高い断熱性を発揮します。

各種ディテール

〔ミラフロー+ミラクリフ〕納まり図



〔ミラフロー+コンクリートブロック二重壁〕納まり図



## ■ 設計上の注意事項

駐車場等で重量車両の乗り入れが予想される場合は、押えコンクリートの厚さ・強度の設計を行って下さい。又、長期的な荷重や集中荷重が発生する場合は、事前の強度計算に基づく検討が必要です。

## ■ 施工上の注意事項

### 1. 火気厳禁(溶接厳重注意)

火気に接触すると燃えます。ミラフォームは燃えると黒煙を発生します。従って、輸送、保管、施工等に際しては火気に十分注意すると共に、適切に養生してください。特に溶接・溶断を行う際は、溶接火花が当たらないように必ず養生してください。ミラフォームの酸素指数は26以上です。

### 2. 紫外線注意

直射日光に長時間曝すと徐々に表面から変色劣化し、接着不良、厚さの減少等の原因になりますので、保管に当たっては養生シートで覆い、施工後は速やかに仕上げを行ってください。

### 3. 有機溶剤注意

アルコール系以外の有機溶剤、石油類には侵されますので、接着剤、塗料等の選択及び木造住宅での防腐・防蟻薬剤の選定及び使用方法については事前にそれらのメーカーにお問い合わせください。

### 4. 高温注意

使用温度は80℃以下です。80℃を超えると徐々に変形し始めますので、高温での使用は避けてください。

### 5. 割れ・踏み抜き注意

局部圧縮や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地のない箇所には乗らないでください。

### 6. 強風注意

軽量で取扱が容易な反面、風にあおられやすいので強風下での作業は注意してください。また、保管に当たっては飛散防止処置をしてください。

### 7. その他の注意

- (1) フォームの屑が目に入った場合は、こすらず流水で洗浄してください。
- (2) 熱線スライス等、煙の発生する作業を行なう場合は、換気を十分行なってください。
- (3) 燃やすと黒煙(スス)がでますのでご注意ください。(廃棄の際は条例に従って処理してください。)
- (4) 鳥、鼠、昆虫等によって損傷を受けることがありますが、栄養源や餌にはなりません。

以上の注意事項に関しては、一般的な取り扱いを対象としたものです。それ以外の使用に関してはお問い合わせください。

## 株式会社 JSP 第一事業本部 建築土木資材事業部 ホームページ <http://www.co-jsp.co.jp>

### 東日本建材統括部

札幌営業所 〒060-0003 札幌市中央区北3条西1-1(サンメモリアビル) TEL 011-231-2681(代) FAX 011-231-7850

仙台営業所 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1(仙台興和ビル) TEL 022-262-3271(代) FAX 022-266-9583

建築資材グループ 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2(新日石ビル) TEL 03-6212-6362 FAX 03-6212-6369

### 西日本建材統括部

名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦3-4-6(桜通大津第一生命ビル) TEL 052-962-3225(代) FAX 052-962-3252

大阪営業所 〒541-0053 大阪市中央区本町1-6-16(いちご塚筋本町ビル) TEL 06-6264-7903(代) FAX 06-6264-7913

広島出張所 〒732-0052 広島市東区光町1-12-20(もみじ広島光町ビル) TEL 082-568-0566(代) FAX 082-568-0577

福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-12-17(五幸ビル) TEL 092-411-6854(代) FAX 092-474-1796

工場 北海道工場、鹿沼工場、関西工場、九州工場

お問い合わせ